道標（みちしるべ）第376号

平成24年1月25日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その1

1　研究概要

（1）研究課題

新学習指導要領では「各教科等で学校図書館を活用した指導を多面的に展開するなど、教育活動全体で言語活動を充実させ、読解力や思考力・判断力・表現力等の課題解決能力、情報活用能力等を育むとともに、自ら主体的に学ぶ意欲・態度を養うこと」が最重要課題である。学校図書館活用を中心に、言語活動の向上に関する研究を進める。

市・学校図書館研究奨励校	市・学校図書館活用モデル校	都・言語能力向上推進校
学校司書の配置及び蔵書管理システムの導入の効果に関する実践的な調査研究を行い、それらの有効性を実証的に検証する。	各教科等において言語活動の充実に取り組むために、各教科等における学校図書館の活用を推進する方策を研究する。	活字に親しむ学校づくりを通して、言語能力を向上させることにより、児童の思考力・判断力・表現力等を育成し、生きる力を育む。

（2）研究内容

ア　推進体制の確立

①　（推進組織）校内研究推進委員会に「研究」と「図書」に関する２つの部会を設置

②　（推進体制）司書教諭の持ち時数を週２時間軽減し、全校の図書館活用を支援

イ　蔵書管理システムの導入・運用

①　（導入）高機能かつ管理の容易な蔵書管理システム

②　（活用）多様な情報検索が可能で学習に資する MARC

ウ　学校司書等の配置・活用

①　（司書）週２日、１日６時間、年間 70 日間の配置

②　（顧問）年間 12 回、学校図書館経営顧問を招聘

エ　学校図書館の活用

①　（読書指導）読書の量と質を向上させるために、全校で読書活動を推進

②　（学習指導）確かな学力を向上させるために、教科等の指導において図書館を活用

オ　成果の検証

①　（取組評価）学校図書館の整備・活用状況、読書活動の状況等を評価・検証

②　（成果検証）読書力や読解力などの学力を評価・検証

③　（成 果 物）学校図書館活用年間指導計画や教科等の指導案等を集約

（3）成果検証の方法

学校図書館活用の取り組みの評価と、その成果としての児童の変容を、次にあげる調査により数量的に検証する。

〔取組評価〕学校図書館の活用

- ○　学校図書館経営評価
- ○　学習指導状況調査
- ○　読書指導・読書活動状況調査

⇒

〔成果検証〕児童の変容

- ○　読書調査
- ○　学校図書館関連テスト
- ○　読書力診断検査
- ○　学力調査

なお、調査研究に伴い、学校全体で学校図書館の活用を推進するための〔アクションプラン（学校図書館に関わる各種計画、利用規程等）〕及び、各教科等において学校図書館を活用するための〔カリキュラム（年間指導計画、指導案等）〕を作成した。

道標（みちしるべ）第 377 号

平成 24 年 1 月 26 日
校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その２

（４）主な取組み

ア）学校図書館の整備

ボランティアを中心に、学校図書館を読書センターと学習・情報センターに大改造。

ビ　フ　ォ　ー

改　造　中

ア　フ　タ　ー

イ）学校図書館の活用

学校図書館アクションプランを編成し、学校の中心に図書館を据えた教育課程を展開。

指導者	頻度	今年度の取組例
学校司書	週２日	リファレンス、蔵書管理ｼｽﾃﾑ運用、公立図書館連携
学校図書館経営顧問	月１日	探究的学習の指導、アニマシオンやブックトーク
司書教諭	週２時間	パネルシアター等による読書指導、読書感想文の指導
各担任など	随時	読書週間の指導、教職員の推薦図書、校内掲示の工夫
保護者・児童など		読み聞かせ、読書集会、図書館整備・展示、資料作成

ウ）「言葉を大切にする学校」の体系化

全校共通の取組と各学年による特色ある取組により、活字に親しむ学校づくりを推進。

例		今年度の取組　〔三小メソッド〕を関連付けて実践
全学年共通		朝読書、三小日記、人権作文、読書感想文、調べる学習コンクール
例	第３学年	五･七･五作り、東久留米自慢大会（探究的学習）、親子で読書をしよう
	第６学年	「三小かるた」制作、被災地に暑中見舞い・年賀状・幟を書こう

〔三小日記〕

〔三小カルタ〕

〔被災地への幟(のぼり)〕

エ）「言語能力育成カリキュラム」の作成

校内研究として４部会が研究授業を実施し、計 66 本のカリキュラムを作成した。

例	カリキュラムによりめざす子供像　（専科は取組例）
高学年部会	経験を生かして、言葉や文章で正しく相手に伝えることができる子
特別支援学級部会	言葉だけでなく体も使って自分の思いを表現できる子
図画工作	作品から詩や物語を作成、絵と言葉で表現し鑑賞する

オ）言語能力指導メソッド〔三小メソッド〕の開発

田中博之氏（早稲田大学教職大学院・教授）の「言葉の力を育てる教育メソッド」と、その理論的基盤である「フィンランド・メソッド」の指導法をもとに言語能力を６領域 20 項目の力に整理した『言語能力指導メソッド〔三小メソッド〕』を開発した。

領域Ａ	論理的に思考し、表現する力	領域Ｂ	人間関係を豊かにする力
領域Ｃ	イメージや感性を豊かに想像する力	領域Ｄ	実践や行動につなげる力
領域Ｅ	自分を励まし創る力	領域Ｆ	言葉とその使い方を評価する力

道標（みちしるべ）第378号

平成24年1月27日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その3

4　三小の読書活動を紹介

「本との出会い」は、人との出会いである。子供たちは、読書を通じて、広い世界、未知の世界を知り、様々な人々の考え方と出会うことができる。豊かな読書は、自分自身の考えを深め、高める。人生を豊かなものにする一生の財産である。

またそれは、自ら考え、判断し、表現する力を養うものであり、変化の激しい社会に対応していくための大きな力となるはずである。

本校では、子供たちが様々な分野の本と出会い、多様な読書ができるように、以下のように読書環境づくりに力を入れてきた。

（１）本との出会い、人との出会い〔場の設定〕

本との出会いがないために、読書に関心を寄せない児童がいる。いろいろな立場の人たちが読み聞かせをするなど、読書に親しむ場の設定をした。

【方策①】保護者、地域ボランティア、教職員、縦割り班による読み聞かせ

保　護　者

地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

教　職　員

【方策②】図書委員会による取組み

ペープサート

読み聞かせ

読書集会

（２）読書に親しむ工夫〔環境整備〕

学校図書館の整備を中心としつつ、学校のあらゆる場で、読書に親しむ環境づくりを進めてきた。これは、保護者ボランティアの協力よるところが大きいところである。

【方策③】教職員による工夫

校長先生の絵本ｺｰﾅｰ

校長先生の手作り畳

教職員の推薦図書

【方策④】図書ボランティアによる環境整備

配架の変更

廃棄本の整理

新聞資料作り

道標（みちしるべ）第379号

平成24年1月30日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その４

（３）多様な読書により質を高める〔中心は国語の授業〕

心から読書を楽しめるようになるために、子供の興味・関心にそった日常読書だけではなく、読書の幅を広げ、読書の質を高めるための指導を計画的に実践している。

【方策⑤】司書教諭による読書指導

読み聞かせ

パネルシアター

ブックトーク

【方策⑥】学校図書館経営顧問による学習指導

調べ学習

アニマシオン

校内研修会

【方策⑦】中央図書館の司書による図書館活用指導

探究学習

公立図書館に

学校図書館に

（４）情報提供・リファレンス〔読書支援が底支え〕

どんな本を読んだらいいか分からないので読書が苦手、本が嫌い、という子も少なくない。学校司書の配置と蔵書管理システムの導入が、読書支援の在り方を大きく変えた。

【方策⑧】学校司書によるリファレンス

司書：向こうの棚を探してみて

児童：どこを探しても無いの

司書：こういう本もあるのよ

【方策⑨】蔵書管理システムによる図書検索

貸出ｶｳﾝﾀｰ

システム

個人カード

道標（みちしるべ）第 380 号

平成 24 年 1 月 31 日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その５

５　研究成果　－　教員の「学校図書館活用」が充実してきました　－

(1)学校図書館経営と(2)教科指導での図書館活用について、21 年度末と 23 年度末の状況を比較して評価する。また、図書館経営については、25 年度末の目標も示す。

また、研究に伴って作成した(3)アクションプラン、(4)カリキュラムの一部を例示する。

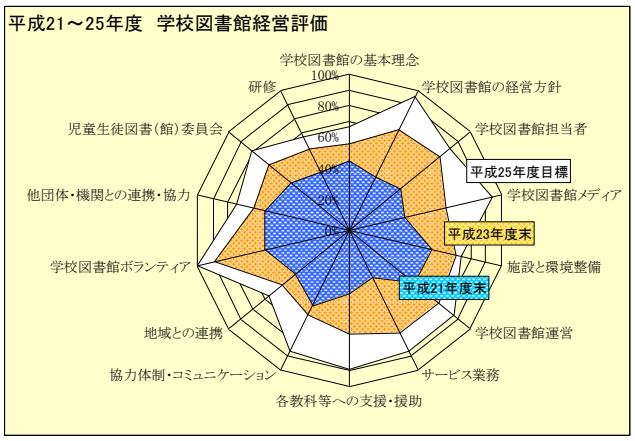
（１）学校図書館経営評価

この調査は、平成 20 年度に全国学校図書館協議会（ＳＬＡ）が全国の抽出校でサンプル調査をしながら開発した『学校図書館経営評価』を用いている。基本理念や経営方針など 100 の設問から 14 の項目を評価し、達成率（%）で表すことができる。

調査の目的は、学校図書館の経営、運営、環境、活動等に関する改善点を明確にし、次年度以降の学校図書館経営・運営に生かすことである。

この間に最も向上した項目は「サービス業務」(33% → 73%) である。当然ながら、学校司書の配置が大きな要因である。次いで向上したのが「図書館経方針針」「担当の職務」「ボランティア活用」であり、明確な方向性により、組織的な動きが向上してきたと言える。

しかし、「地域との連携」「協力体制・コミュニケーション」「他団体･機関との連携･協力」等は、60%前後とまだまだ改善の余地があり、学校を越えた図書館連携を進める必要がある。



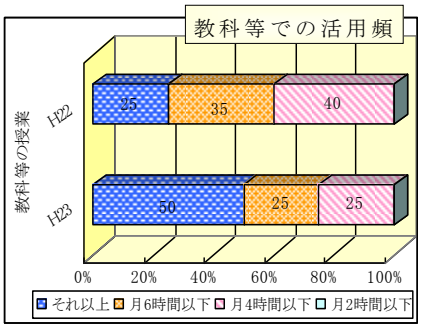
（２）学習指導における学校図書館利用

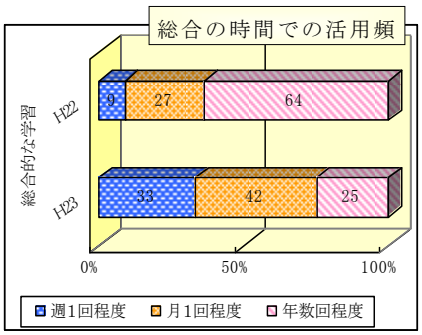
これからの学校図書館には、読書センターとともに、学習情報センターとしての機能が求められている。

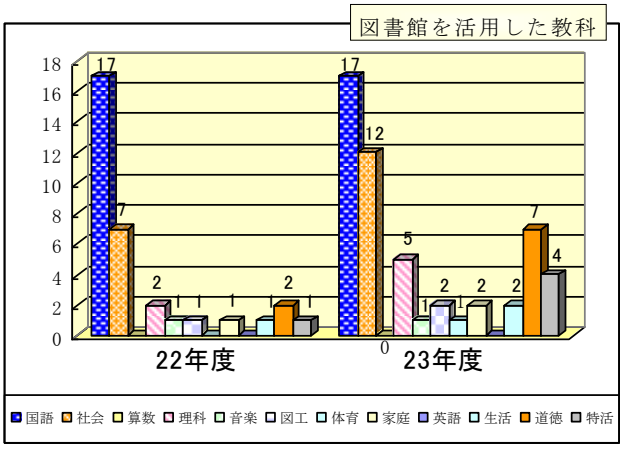
本校では、100%の教員が、総合的な学習の時間も含めて各教科等の授業において、学校図書館を活用している。

この間、活用頻度も高くなり、平均して、各教員が週２回以上は学校図書館（の機能）を活用した授業を行っている。学校司書の配置により、必要な図書資料の準備や指導計画の検討など、これまで大きな悩みであった部分が改善されたことが一員と考えられる。

なお、活用教科は、社会、理科、道徳が伸びているが、依然として偏りがあり、更なる推進が必要である。







道標（みちしるべ）第381号

平成24年2月1日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その６

（３）アクションプラン一覧

学校図書館は、学校教育に必要な図書資料等を収集・整理し、これを児童と教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備である。そのため、学校図書館活用の全体計画等を作成し、基本的な方針を示すとともに、具体的な指導計画や必要な基準等を定め、学校のすべての教育活動を通して学校図書館を活用し、意図的・計画的な教育を進める。

学校図書館経営方針	教育活動全体を通して学校図書館の機能が効果的に働くよう、学校図書館の運営、組織、活用、整備等について、学校としての具体的な方針を示す。
学校図書館全体計画	学校図書館の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して学校図書館の活用を図るための方策を総合的に示した教育計画である。
学校図書館運営計画	図書館運営や図書行事計画を中心に、司書教諭や司書、担任等の活動を明示し、学校図書館を組織的・計画的に運営するための年間計画である。
学校図書館運営役割分担	司書教諭や学校図書館指導員、担任等の仕事の内容と分担を明記したものである。実際の活動においては、全教職員の理解と協力が重要である。
学校図書館活用計画	学校図書館が学校全体で意図的・計画的に活用されるよう、各学年、各教科で図書館を活用する学習単元等を示した年間の指導計画である。
読書活動年間指導計画	各教科等の指導を通して扱われる読書活動について、指導の内容、指導の順序、使用する図書などを定めた具体的な年間の指導計画である。
情報リテラシー指導計画	学校図書館を活用した学びの過程における情報リテラシーを体系的にまとめ、指導する内容や学年を示すものである。総合的な情報活用能力のこと。
情報教育年間指導計画	コンピュータの基本的な操作や情報収集、発信などを円滑に行うことができるよう、スキルの指導内容を具体的に計画したものである。
図書選定・廃棄基準、整備方針	図書の選定や廃棄、図書館の整備、利用について、基準や規定を定める。学校の教育課程の展開に寄与する教育的価値の高い図書を選定する。

（４）カリキュラム例　　第４学年　人権作文「私たちの考えたと」（国語：９時間扱い）

学習過程		言葉の力
習得の過程	第１次 ２時間 〈相手意識・目的意識〉 被災地の子供たちの作文や新聞記事を読み、心に残ったことや感想等をメモし、グループで交流する。	領域Ａ（思考・表現力） 思考を明確にする力 領域Ｃ（想像力） イメージを創る力
	第２次 ２時間 〈取材・選材、構成〉 「命」「人とのつながり」「思いやり」など、自分の考えたことが相手に伝わるように材料を選んで構成する。	領域Ａ 文章を構成する力 領域Ｂ（人間関係力） 心を伝える力
活用の過程	第３次 ２時間 〈記述〉 人権について、事実と意見を区別して、自分の意見を明確に伝える文章を書く。	領域Ｄ（実践力・行動力） 正義を訴える力
	第４次 ２時間 〈推敲・評価〉 文章の推敲の仕方を知り、自分の書いた文章を推敲遂行チェックシートを活用して推敲する。	領域Ｆ（評価力） 間違いを正す力
	第５次 １時間 〈振り返り・発表〉 書いた文章を読み合い、本単元の学習を振り返り、人権についての考えを深める。	領域Ａ（思考・表現力） 思考を明確にする力 領域Ｂ（人間関係力） 相手を認める力 領域Ｅ（自分を創る力） 自信をつける力

〔本単元で活用した図書資料の例〕

○被災地の子供の作文集「つなみ」文藝春秋　○気仙沼発「ファイト新聞」河出書房
○「ハチドリのひとしずく」光文社　○朝日小学生新聞（日刊）　○河北新報縮刷版

道標（みちしるべ）第 382 号

平成 24 年 2 月 2 日

校長　稲垣　達也

市・学校図書館調査研究　報告書　その 7

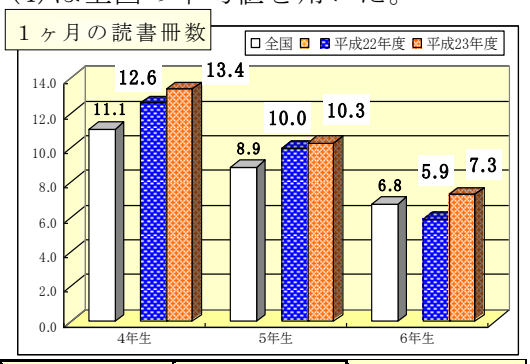
６　児童の変容　－ 児童の「読む力」「読解力」が飛躍的に伸びました －

「学校司書の配置」「蔵書管理システムの導入」による学校図書館活用の成果を、(1)読書調査〈４年以上〉、(2)学校図書館関連テスト〈６年〉、(3)読書力診断検査〈６年〉、(4)学力調査〈５年〉により検証した。特に、昨年度からの伸びを中心に報告する。

なお、比較の対象として(1)及び(2)は文科省「平成 19 年度新教育システム開発プログラム（学校図書館研究）」協力校 35 校の結果、(3)及び(4)は全国の平均値を用いた。

（１）読書調査　４～６年生

１年間という短い期間ではあるが、読書量、読書意識ともに着実に向上している。とりわけ、昨年度の読書量が全国平均を下回っていた６年生が 5.9 冊 → 7.3 冊 と伸びるとともに、意識面でも「本を読むのが好き」73% → 80% 、「繰り返し読みたい本がある」84% → 94% 、「学校図書館の本をよく利用する」56% → 61%など、大きな変容が見られた。

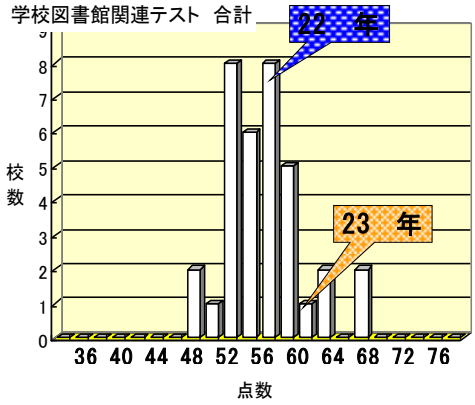


調　査　項　目		全国協力校	22 年度	23 年度	経年比較
本を読むのが好き	４年生以上の平均	８３％	８４％	８７％	＋　３ポイント
繰り返し読みたい本がある		７８％	８９％	９２％	＋　４ポイント
本を読むことは大切だと思う		９２％	９４％	９６％	＋　２ポイント
学校図書館の本をよく利用する		６６％	６８％	７４％	＋　６ポイント

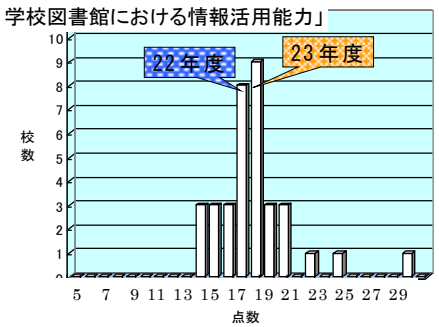
（２）学校図書館関連テスト　６年生

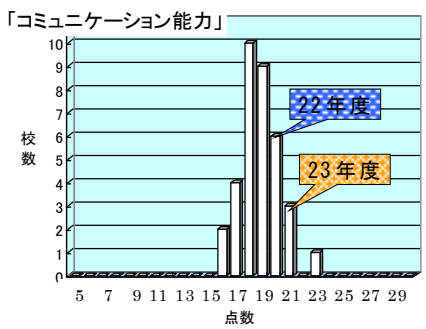
この調査は、全国学校図書館協議会（ＳＬＡ）が開発したもので、学校図書館を活用することにより育つ力を３つの観点で測定しようとするものである。　**※ 図中に、本校の H22 → H23 の経年変化を示した。**

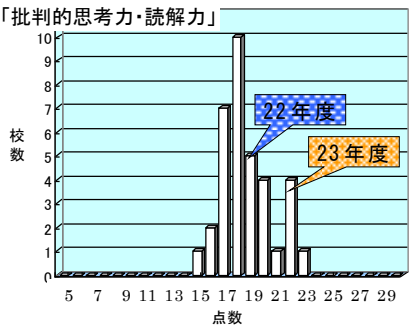
本校は、比較的高い水準にあり、経年での向上も見られた。とりわけ「批判的思考力・読解力」が大きく向上し抜きに出ている。しかし「学校図書館における情報活用能力」は、昨年度より伸びているものの平均以下である。今後、学校図書館を活用する学習を充実させていく必要である。



観　点　※下の数値は満点を示す		全国協力校	22 年度	23 年度	経年比較
図書館における情報活用能力	32 点	１８.２点	１７.０点	１８.０点	＋１.０ポイント
コミュニケーション能力	30 点	１９.２点	２０.１点	２１.４点	＋１.３ポイント
批判的思考力・読解力	38 点	１８.７点	１９.３点	２１.９点	＋２.６ポイント







道標（みちしるべ）第383号

平成24年2月3日

校長　稲垣　達也

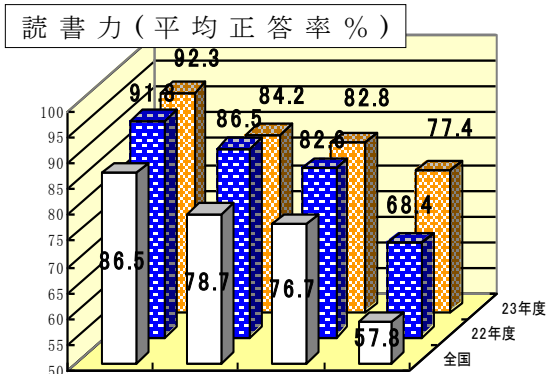
市・学校図書館調査研究　報告書　その8

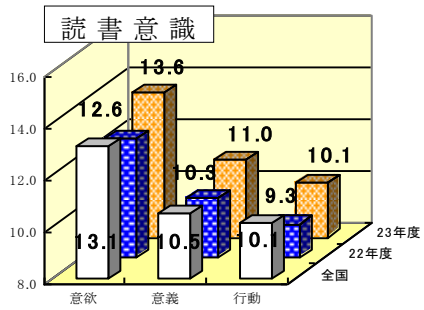
本調査は、㈱図書文化社が開発した読書力を測定する手法である。ここでいう「読書力」とは国語教育でよく用いられる「本を読む力」という意味とは異なっており、文章の内容理解を含む「書かれたもの全般を読む力」と定義され、以下の構成による。

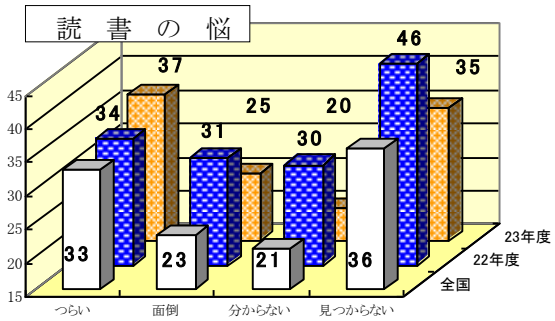
Reading -Test
- 読書力検査
  - 読字力 ‥ 漢字を正しく読めるか
  - 語彙力 ‥ ことばの意味を知っているか
  - 文法力 ‥ 正しい文法が身に付いているか
  - 読解力 ‥ 文章を正しく理解できるか
- 意識調査
  - 読書意欲‥読書に対する関心や本を読みたいと思う気持ち
  - 読書意義‥読書が自分のためになると考える傾向
  - 読書行動‥読書に対する普段の様子
  - 読書についての悩み‥読書活動が進まない理由

本校の『読書力』は全国平均と比較して全般的に高く、とりわけ「読解力」がきわめて高い。読字力・語彙力・文法力には大きな変容が見られなかったものの「読解力」はさらに伸びている。

『意識面』でも、昨年度より若干向上しており全国の標準レベルを上回った。また、「字を読むのは辛い」と感じている児童が微増したものの、「本を読むのは面倒」「何を読んだらよいのか分からない」「面白い本が見つからない」等の悩みは、昨年度よりも大幅に減少している。学校司書や蔵書管理システムの活用の成果が出た。







（４）学力調査　５年生

市調査：国語の「読む力」が全国より8.6ポイント高く、国語全体の学力を押し上げている。

都調査：東京都全体との比較を経年変化でみると、「読み解く力」が全体で1.5ポイント向上し、特に社会科は5.6ポイント向上し、都全体を6.4ポイント上回る結果が出ている。

※下表の（　）内の数値は、市調査は全国との差を、都調査は東京都全体との差を示している。▽は下回ったもの。

市調査	国　語	話す・聞く力	書く力	読む力	知識・理解	算数
23年度	80.9%(+5.5)	89.1%(+3.3)	81.4%(+4.6)	73.9%(+8.6)	79.2%(+5.9)	67.1%(▽2.3)

都教科の内容	国　語	話す・聞く力	書く力	読む力	知識・理解	算数
22年度	83.2%(+3.2)	80.2%(▽1.5)	66.0%(+2.7)	80.4%(+1.9)	90.2%(+5.4)	72.0%(+2.9)
23年度	73.0%(+0.9)	90.7%(▽2.4)	63.9%(+3.2)	-	63.8%(+1.1)	70.7%(▽2.0)

都読み解く力	全　体	国　語	社　会	算　数	理　科
22年度	65.9%(+0.7)	74.5%(+0.8)	72.5%(+0.8)	52.8%(▽0.7)	68.1%(+2.3)
23年度	58.2%(+2.2)	63.6%(+1.2)	53.4%(+6.4)	49.9%(▽0.1)	67.5%(+1.7)